

スーパー耐久シリーズにPORSCHE 718 Cayman GT4 MR 国内初導入決定

2019年12月27日

バースレーシングプロジェクト(以下、BRP)は、2020年スーパー耐久シリーズ(以下、S耐)に、新型「PORSCHE 718 Cayman GT4 Clubsport Competition Manrhey-Racing」(以下、PORSCHE 718 Cayman GT4 MR)を国内初導入する事を決定しました。

BRPでは、2019年よりスーパー耐久にて新設された、ヨーロッパでは非常に注目度の高いFIA GT4車両の参戦クラスである、ST-ZクラスにMercedes AMG GT4で参戦し、テスト参戦でありながらも、2019年シリーズランキング3位の好成績を取りましたが、2020年からは参戦体制を大きく変更し、ポルシェジャパンとマンタイ・レーシング(ドイツ)のサポートを受けて、新型PORSCHE 718 Cayman GT4 MRを国内初導入する事を決定しました。

昨年からは体制は変化し、大きなチャレンジとなりますが、1年間のAMG GT4での運用で、蓄積した経験とノウハウをベースに、シリーズチャンピオン獲得を目指しチャレンジを致します。
マンタイ・レーシング(ドイツ)から車両・パーツが2020年2月には届く予定でその後、国内サーキットにおいてテスト走行を行い、開幕戦に備えます。

参戦車両	PORSCHE 718 Cayman GT4 MR
カーナンバー	No.19
ドライバー	BRPサポートドライバーから選定予定
エントラント	バースレーシングプロジェクト【BRP】
サポート	マンタイ・レーシング(ドイツ) ポルシェジャパン株式会社(東京)



マンタイ・レーシングGM: Thomas Raquet BRP代表: 奥村浩一

BRP代表コメント

BRPでは、2019年6月よりマンタイ・レーシング及びポルシェジャパンとPORSCHE 718 Cayman GT4 MRの導入に関するミーティングを重ねて、この度日本初導入を決定致しました。

2019年はST-TCRクラスでシリーズチャンピオン獲得し、これによりST-TCRクラスへの参戦は終了し、平行してテスト参戦を行っていた、ST-Zクラスに正式にシーズンエントリーし、再び3年間のプロジェクトでこのクラスでも、シリーズチャンピオン獲得を目指しチャレンジを開始致します。今回PORSCHE 718 Cayman GT4 MRを日本初導入する理由としては、非常に多くの車種を有して、非常に盛り上がっているFIA GT4カテゴリーにおいて、本場ヨーロッパと同じレベルの多様な車種を日本でも参戦させ、魅せるレースを行い、PORSCHEの高い信頼性で日本の過酷な環境の耐久レースに勝つことを目的として今回導入を決定しました。

BRPの新しいチャレンジにご期待頂き、是非皆様ご支援・ご声援をお願い致します。

BRP代表 奥村 浩一

■マシン概要

Machine	: PORSCHE 718 Cayman GT4 MR
Engine	: 23,800cc six-cylinder mid-mounted boxer
Transmission	: 6-speed PDK
Power	: 425ps/7,500rpm
Torque	: 425Nm/6,600rpm

【お問い合わせ先】

株式会社バース モータースポーツ事業部
バースレーシングプロジェクト(BRP)
<http://www.brp.gr.com>